

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	eravuすみれ台		
○保護者評価実施期間	2025年12月9日		～ 2026年1月9日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17	(回答者数) 16
○従業者評価実施期間	2025年11月26日		～ 2025年12月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	2025年12月1日		～ 2025年12月31日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 2月 6日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の発達的な特性やニーズを踏まえて、様子にあった支援を行っている。	研修や事例検討を行い、障害や教育に関する知識を深めている。職員間での日々の情報共有を通じて、放課後等デイサービス利用時も含めた利用児童の実態把握に努めている。	保護者の方からご家庭での様子、他事業所や習い事での様子等の聞き取りを行い、いろんな観点から情報を集める。
2	訪問先との情報共有、訪問先の意向を踏まえた支援を行っている。	支援終了後や休み時間、送迎時に担当の先生と時間をとり、支援内容や日々の過ごし方について情報共有を行っている。	訪問先で対応可能な支援の範囲、事業所で取り組める内容を精査し、利用者様の成長のために本当に必要な支援について検討していきたい。
3	保護者様との情報共有を行い、本人やご家庭の適切なニーズ把握に努めている。	訪問の頻度や支援が欲しい教科について、本人や保護者の考えを聞き取り、支援者、訪問先で対応可能な範囲で日程の調整を行っている。訪問内容については詳細に保護者の方へ報告を行っている。	訪問内容を報告した際に保護者の意向を聞き取る機会を設ける。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	希望に対し職員の配置が少なく、すべての希望に添えていない。	訪問支援担当の職員が少ない。	どのくらいの頻度で支援が必要か、支援内容や本人の受け入れ度合い、保護者の方の意向も踏まえ、利用者様一人ひとりに合わせて調整する。
2	保護者の方の意向を把握する機会が少ない。	支援計画更新時、保護者の方からの希望があった場合には情報共有を行っているが、それ以外で定期的な面談を設けられておらず、細かいニーズの把握ができていない場合がある。	日々の様子の報告の際に保護者の方からの意向を聞き取る。
3	訪問先との情報共有が十分でない場合がある。	1日に支援に入る利用児童が多いと、学校側、支援者側それぞれの都合もある中で、十分に共有を行えない場合がある。	利用児童の課題、学校側が課題に感じている部分等、共有事項を明確にし、短い時間で必要な情報共有が行っていく。